

5) ガバナンス部門

徐 行 (講師・比較法)

(1) センターの部門に関連した研究活動およびそのアウトプットについて。

現代中国の法化社会の形成における市民参加を中心に研究を展開してきた。立法と司法における市民参加の諸制度について、資料収集・分析及び現地調査を経て、その内容と運用実態を把握し、いずれの制度も共産党政権が正統性を維持・調達するために運用していることを解明した。特に司法における市民参加の中心的な制度として、人民参審員制度が多くの問題を抱えており、改革を経てもなお形骸化するリスクをはらんでいることを明らかにした。それに関する研究成果は学会報告と学术论文の形式で公表した。

(2) 自身の研究活動およびそのアウトプットについて。

「現代中国における訴訟と裁判規範のダイナミックス 司法解釈と指導性案例を中心に」という論文の連載を終えた。博士論文をベースに最新の情報を補足し、中国における「案例指導制度」の現状とその問題点を明らかにし、行政的な司法統制システムの下に置かれている司法による法形成の限界を指摘した。

(3) その他(教育活動ほか)

- ・ 現代中国の法と政治に関する文献の精読を中心とする中国語演習。
- ・ 「裁判を通じてみた中国社会」をテーマとする市民講座。

論文

| 論文標題 | 雑誌名 | 発行年 | 頁 |
|--|-----------------|--------|----------------|
| 現代中国における訴訟と裁判規範のダイナミックス(4) 司法解釈と指導性案例を中心に | 北大法学論集 64 巻 2 号 | 2013 年 | 428 ~ 382 頁 |
| 現代中国における訴訟と裁判規範のダイナミックス(5・完) 司法解釈と指導性案例を中心に | 北大法学論集 64 巻 3 号 | 2013 年 | 504 ~ 481 頁 |
| 中国における市民の司法参加システム 人民参審員制度 | 比較法研究 75 号 | 2013 年 | 265 ~ 276 頁 |
| 書評：田中信行(著)『はじめての中国法』 | アジア法研究 7 号 | 2014 年 | 207 ~ 212 頁 |

学会発表

| 発表課題 | 学会等名 | 年月日 | 発表場所 |
|------------------------------|-------|-------------------|--------|
| 中国における市民の司法参加システム 人民参審員制度 | 比較法学会 | 2013 年 6 月 1 日 | 青山学院大学 |